

# 第3回 能登半島絶景海道の 創造的復興に向けた検討会

## (2) 新たな取り組みの状況

### 1) 能登半島絶景海道プロジェクト

- ①「道の駅」リレーイベント開催 (令和7年 5月～)
- ②今しか見られない能登ツアー (令和7年 8月 )
- ③奥能登復興サイクル100 (令和7年 9月 )
- ④「つなげよう絶景海道」クラフトコンテスト開催 (令和7年12月 )

### 2) その他の取り組み

- ①能登半島絶景海道のロゴマークおよび英語表記
- ②能登絶景『美岩』の選定
- ③メモリアルパーツ（震災遺構）の保存
- ④「SSTR」運営委員会事務局へのヒアリング
- ⑤イベント等でのPR活動

令和7年7月31日

## (2)新たな取り組みの状況\_1)能登半島絶景海道プロジェクト

### ①「道の駅」リレーイベント開催(令和7年5月～)

能登半島の美しい自然や独特の文化を体験できる絶景スポットや地震による隆起海岸など新たな絶景スポットを県内外にPRし、能登地方に人を呼び込むため、北陸管内の「道の駅」を対象としたリレーイベントが開催されています。

#### 【第1回「道の駅」千枚田ポケットパーク(石川県輪島市)



ポスターの掲示

【期間】

令和7年4月26日(土)  
～5月6日(火)

#### 【「道の駅」めぐみ白山(石川県白山市)】



パネル・メモリアルパーツ  
(震災遺構)の展示

【期間】

令和7年4月26日(土)  
～5月10日(土)

#### 【第2回「道の駅」あらい(新潟県妙高市)】



パネル・メモリアルパーツ  
(震災遺構)の展示

【期間】

令和7年6月6日(金)  
～7月9日(水)

#### 【第3回「道の駅」新潟ふるさと村(新潟県新潟市)】



パネル・メモリアルパーツ  
(震災遺構)の展示

【期間】

令和7年7月10日(木)  
～7月30日(水)

#### 【今後の予定】

8月「道の駅」ながおか花火館 ➡ 9月「道の駅」能生 ➡ 10月「道の駅」メルヘンおやべ ➡  
11月「道の駅」万葉の里高岡 ➡ 12月「道の駅」KOKOくろべ ➡ 1月「道の駅」しらやまさん ➡  
2月「道の駅」倶利伽羅源平の郷 ➡ 3月「道の駅」織姫の里なかのと

## (2)新たな取り組みの状況\_1)能登半島絶景海道プロジェクト

### ②今しか見られない能登ツアー(令和7年8月)

#### 【ツアー概要】

●出発日：2025年8月22日(金)

令和6年能登半島地震が発生してから今日までの、奥能登の道の復興について、国道249号沿岸部を中心に案内します。

国土交通省 能登復興事務所の職員が現状について、解説・説明を行います。

当日のルートには、仮設道路や、現在、一般車両の通行ができない場所もあり、

“今しか見れない能登”を体験できるバスツアーです。

#### 【ツアーの主なルート】

金沢駅西口(7:30出発) = 中屋トンネル =  
パワーシティ輪島ワイプラザ内『出張輪島朝市』 =  
白米千枚田 = 三ツ子浜地震被害道路 = 窓岩 =  
真浦町・海岸を利用した迂回路 =  
「道の駅」すず塩田村 = 「道の駅」すずなり =  
千里浜なぎさドライブウェイ =  
金沢駅西口(19:00着)



真浦町・海岸を利用した迂回路



中屋トンネルと仮橋



## (2)新たな取り組みの状況\_1)能登半島絶景海道プロジェクト

### ③奥能登復興サイクル100(令和7年9月)

#### 【企画概要】

第37回ツール・ド・のと400の開催翌日（9月15日（祝・月））に、能登半島地震の復旧・復興が進む奥能登を走る特別企画『奥能登復興サイクル100』を開催します。

コースは、輪島市内をスタートし、国道249号で「道の駅」すず塩田村までを往復します。全国から集まったサイクリストが能登半島地震の被害を肌で感じ、復興を応援する企画です。



ツール・ド・のと400 過去大会の様子

写真出典) 石川県観光連盟

#### 第37回ツール・ド・のと400 開催概要

【開催日】令和7年9月14日（日） 【発着地】金沢市

○1日コース: 金沢市⇒中能登町⇒金沢市(約150km)

○ HALFコース: 金沢市⇒かほく市⇒金沢市(約70km)

## (2)新たな取り組みの状況\_1)能登半島絶景海道プロジェクト

# ④「つなげよう絶景海道」クラフトコンテスト開催(令和7年12月)

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨で大きな被害が発生したエリアを対象として、“未来につなぐみちづくり・まちづくり”をテーマに、マイクラフトに展開したワールドで将来の道や街並みのデザインを募集しました。

### 【第1弾「つなげよう絶景海道」 クラフトコンテスト in白米千枚田】

期間：令和6年12月20日（金）～令和7年2月28日（金）  
第1弾として、令和6年能登半島地震により大規模な地すべりが発生し、国道249号が寸断された千枚田工区を対象にコンテストを実施しました。



第1弾開催結果  
二次元コード



最優秀賞を獲得した作品 「希望の架け橋～能登～」

### 【第2弾「つなげよう絶景海道」 クラフトコンテスト in珠洲市大谷地区】

期間：令和7年7月10日（木）～10月15日（水）  
第2弾では、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨により大規模な地すべりや土砂崩落が発生した珠洲市大谷地区を対象にデザインを募集しています。

「つなげよう絶景海道」  
クラフトコンテスト in 珠洲市大谷地区  
★国道249号の未来をマイクラで創造しよう!★

作品テーマ  
道路を舞台にした  
“にぎわいづくり”

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」や9月21日からの「令和6年奥能登豪雨」により、大規模な地すべりや土砂崩落が発生した珠洲市大谷地区。未来につなぐみちづくり・まちづくりをあなた自身で計画してみませんか？マイクラフトに展開したワールドで将来の道や街並みを自由に創造しましょう。

応募期間 2025 7/10▶10/15

- 応募対象者  
マイクラフトに興味のある方  
能登半島地震からの復旧・復興に興味のある方  
能登半島絶景海道に興味のある方  
建設・環境分野に興味のある方
- スケジュール  
7月10日：公募開始(参加者へデータ提供)  
10月15日：作品の提出期限  
12月1日：審査・結果発表
- コンテストの詳細・応募方法  
能登半島絶景海道HPや右の二次元コードの専用フォームよりお問い合わせ・お申し込みください  
<https://nationalroute249-craftcompetition.net>

主催：能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会事務局

協賛：国土交通省、国土院、国土交通省能登半島復興支援事務局、能登半島復興支援事務局、能登半島復興支援事務局、能登半島復興支援事務局

## (2)新たな取り組みの状況\_2)その他の取り組み

### ①能登半島絶景海道のロゴマークおよび英語表記

#### 【ロゴマーク作成の目的】

ロゴマークを用いて、周遊観光、「道の駅」、サイクルツーリズム、風景街道などのあらゆる活動で共通明示し、能登半島絶景海道全体の一体感を醸成する。

#### 【ロゴマークの使用イメージ】

道路標識、看板、各種イベントチラシ・ポスター、賛同いただける企業商品など

#### 【ロゴマークイメージ】

- ・能登半島全体をイメージできるデザインとする（特定地域に特化しない）
- ・誰にでもわかりやすいデザインとする

#### ●デザイン(イメージ)



能登半島絶景海道内すべての案内標識に補助標識（ルート名）を設置する

## ①能登半島絶景海道のロゴマークおよび英語表記

### 【ロゴマーク選定方法】

複数のデザインから、能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会有識者委員が3案程度抽出し、一般の方に1つを選定いただく。

1. 金沢美術工芸大学の学生に  
デザインを検討いただく 【8月中旬】



金沢美術工芸大学 学生によるプレゼンの様子  
(令和7年7月11日(金))

2. 1のデザインの中から、検討会有識者委員が3案選定 【8月下旬】  
(大学が選定した複数案の中からメールまたは書面で投票いただく)

3. 2のデザインの中から、SNS、ホームページ等を活用し、  
一般の方に投票いただく 【9月中旬】

4. 3の中で最も獲得票数が多いデザインを第4回検討会にて決定 【9月下旬】

# ①能登半島絶景海道のロゴマークおよび英語表記

## 【英語表記設定の目的】

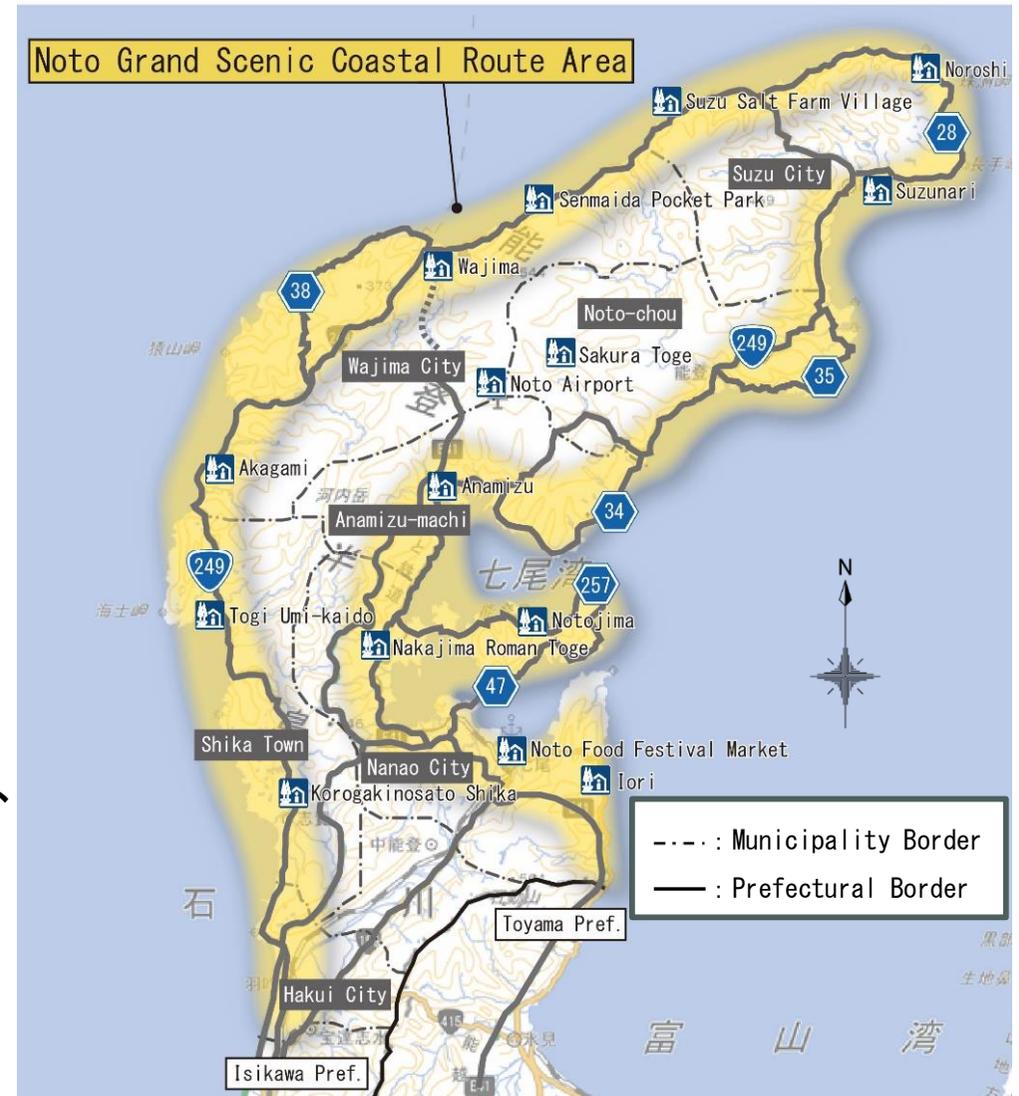
「能登半島絶景海道」で実施する様々な取り組みを、各機関で全世界に情報発信していくために、共通した英語表記を設定します。

## 【能登半島絶景海道の英語表記】

「Noto Grand Scenic Coastal Route」  
略称：「GRANOTO」

能登半島の壮大かつ素晴らしい景色を感じられる、海岸に沿ったルートであることを表現した、「Noto Grand Scenic Coastal Route」を採用

なお、略称は、能登半島絶景海道のブランドを際立たせる表現として「GRANOTO」を採用



能登半島絶景海道想定エリア  
(地理院地図をもとに作成)

## (2)新たな取り組みの状況\_2)その他の取り組み

### ②能登絶景『美岩』の選定

ゴジラ岩や窓岩（ハート岩）に代表される能登の景観資源を“能登絶景『美岩』”として、一体的な情報発信を行います。

第1弾として、以下の景観資源を“能登絶景『美岩』”候補として検討しています。追加すべき景観資源等がありましたら、ご意見願います。

また、“能登絶景『美岩』”は、今後、適宜追加していくものとしします。



能登双見岩  
(珠洲市)



ゴジラ岩  
(珠洲市)



窓岩（ハート岩）  
(輪島市)



権現岩（トトロ岩）  
(輪島市)



機具岩  
(志賀町)



能登絶景『美岩』位置図

今後、各機関と調整し、統一デザインのスポット案内看板設置等の取り組みを推進していきます。



スポット案内看板イメージ

## (2)新たな取り組みの状況\_2)その他の取り組み

### ③メモリアルパーツ(震災遺構)の保存

東日本大震災では、被災した建物をそのまま残すほかに、復興のために使用した建造物も震災遺構として保存しています。

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨においても、被災した建物に加え、現在、復興工事で使用している建造物をメモリアルパーツ(震災遺構)として保存していくことを検討します。

#### 【メモリアルパーツ(震災遺構)のイメージ】

##### ●能登半島地震におけるメモリアルパーツ



倒壊した窓岩ポケットパークの東屋



##### ●奥能登豪雨におけるメモリアルパーツ



崩落土砂により支柱が破断したトンネル情報板



粉々に砕けたフィンガージョイント



崩落土砂により変形した案内標識



## (2)新たな取り組みの状況\_2)その他の取り組み

### ④「SSTR」運営委員会事務局へのヒアリング

能登半島絶景海道における「SSTR（サンライズ サンセット ツーリング ラリー）」との連携可能性やバイカー目線でのご意見等をお伺いするため、「SSTR」運営委員会事務局へのヒアリングを実施しました。

#### 【能登半島絶景海道との協力(連携)可能な項目】

- ・ 継続的に実施しているSSTR等の（一社）日本ライダーズフォーラム事業との連動化
- ・ 「災害支援バイクプロジェクト」の活用、連携



SSTRゴールゲート（千里浜なぎさドライブウェイ）  
写真出典）SSTRホームページ

#### 【ライダー目線での意見・アドバイス】

- ・ 能登半島絶景海道と観光名所等をつなぐセカンドルートに関する詳細情報の配信
- ・ 利用者と地域をつなぐ体験ツーリズムの推進
- ・ サポートスタッフ体制の確保  
（観光ガイドや地域体験活動等のサポートスタッフ等）
- ・ 既存施設における駐輪スペースの拡充
- ・ 能登半島絶景海道におけるサイクルライダーの休憩、立ち寄り、緊急対応スポットの確保



SSTR CAFE（能登千里浜レストハウス内）

## (2)新たな取り組みの状況\_2)その他の取り組み

### ⑤イベント等でのPR活動

各種イベント等において、能登半島絶景海道の魅力伝えるポスターやパネルの展示を行っています。



金沢百万石まつりでのパネル展示（令和7年6月6日（金）～8日（日））



能登デスクでのポスター掲示（JR金沢駅）